

ウサギさん

ちい たね

と小さな種



クラス: JAPN 1231 Tadoku Spring 2024
文&絵: ジンジング・シュー / Jinjing Xue
レベル 2

ある日、森の中で遊んでいたウサギさんが、岩
の間に小さな種を見つけました。ウサギさんは
言いました。



「かわいそうな小さな種！なぜ一人でここに
いるの？友達とはぐれたの？」

「僕が君を大きくしてあげよう！そしたら、僕
たちは友達になれるよ。」

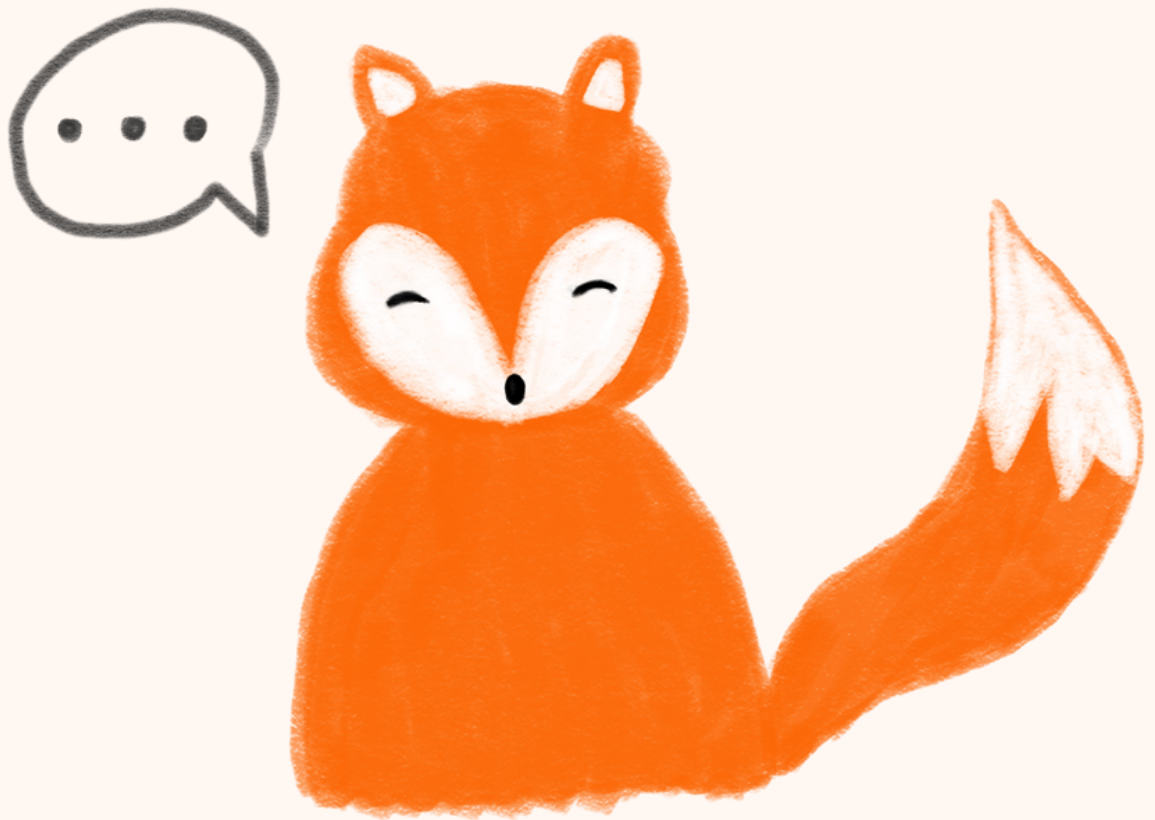
その時、サルが通りかかりました。
彼はウサギさんに言いました。

「ばかげてるよ、種が岩の中で生きるなんて無理だよ。」



その時、キツネが通りかかりました。
彼女はウサギさんに言いました。

「水やりをするのは時間の無駄だよ。
一緒にイチゴを食べに行こう。」



その時、優しい小さなヒツジがウサギさん
を見つけ、言いました。

「かわいいウサギさん、お腹が空いたら、
あっちの草原で草を食べに行かない？」



たね ほか ひと い
種はいつも、他の人がウサギさんに言うの
を聞きました。

あきら たいよう そだ
「なぜ諦めないの？ 太陽も育つスペースも
なければ、種は生き残れないよ！ それか運
命だよ。」

でも、ウサギさんはただ静かに岩のそばに
立っていました。ウサギさんは日々、その
種を守り続けました。



たね ^{かんどう}
種はとても感動しました。

「ありがとう、ウサギさん。君^{きみ}に会う^あため
に、僕^{ぼく}は頑張^{がんば}るよ。太陽^{たいよう}に会^あいたい、大き^{おお}く
なりたい。疲^{つか}れた時^{とき}いつも、優^{やさ}しい声^{こえ}が聞^き
える。

「信^{しん}じて、小^{ちい}さな種^{たね}。君^{きみ}はこの世^せ界^{かい}を好^すきに
なるよ。」」



きょう くもほんとう
「今日の雲は本当にきれいだね。」

あめかぜけんか
「雨と風がまた喧嘩してる。だから太陽が
かく
隠れちゃったんだ。」

きょうあめふしんぱい
「今日は雨がたくさん降るけど、心配しな
いで。」



「もうすぐ君^{きみ}にあ^あ会えるよ、小^{ちい}さな種^{たね}。君^{きみ}が大^{おお}
きくなることを僕^{ぼく}は知^しってる。」



奇跡^{きせき}が起^おこりました。小^{ちい}さな種^{たね}は岩^{いわ}の中^{なか}から
芽^めを出^だしました。そして、忠実^{ちゅうじつ}なウサギさん
は新^{あたら}しい友^{とも}達^{だち}をいっつも守^{まも}り続^{つづ}けます。